



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 内野 紗希 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	1,085	△27.9	16	△56.7	11	△87.7	△19	—
29年9月期第2四半期	1,505	△39.4	37	△71.5	92	△24.4	59	48.0

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 △19百万円(—%) 29年9月期第2四半期 59百万円(48.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	△2.84	—
29年9月期第2四半期	8.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	3,177	1,460	45.8
29年9月期	3,268	1,478	45.1

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 1,455百万円 29年9月期 1,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00			
30年9月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	△13.8	100	△9.9	81	△49.7	10	△95.0	1.43

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	6,973,470株	29年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	106,290株	29年9月期	105,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	6,867,359株	29年9月期2Q	6,868,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調の動きが続いております。一方、海外の政策動向への懸念や海外経済の不確実性による日本国内への景気下押しリスクも抱えており、依然として楽観視できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

また、前連結会計年度にクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、前第2四半期連結累計期間に比べて、売上高が424,220千円減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,085,129千円（前年同四半期比27.9%減）となり、営業利益16,420千円（同56.7%減）、経常利益11,455千円（同87.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失19,483千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益59,717千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度において、「カラーコンタクトレンズ事業」を営むクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、当連結会計年度における当社の報告セグメントは、「コミュニケーション・セールス事業」及び「化粧品卸事業」の2セグメントとなっております。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、新たな顧客層の取り込みとリピート率の向上を図るための施策に取り組んでまいりましたが、新規顧客の獲得に苦戦する状況が続いております。その他、Web・スマホ対応にも注力してまいりました。これにより売上高778,249千円（前年同四半期比4.3%減）、セグメント利益8,288千円（同33.8%減）となりました。今後も季節に応じた新商品の導入や、Web販売強化のためのサイト構築など、積極的なマーケティング活動を行ってまいります。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、古くなった角質を除去するための商品『ナチュラルアクアジェル Cure』及び岩塩を原料とする入浴剤『Cure バスタイム』は依然として、市場でも高い評価を受けております。本年2月からは、酵素の力で汚れを落とす『エクストラオイルクレンジング Cure』及び、酵素で汚れを分解し泥で吸着させる『スペシャルパウダーソープ Cure』の2つの新商品を販売開始しております。いずれの新商品も、当初売上目標の2倍以上売り上げるなど、既存商品に加え順調に売上高を伸ばしております。これにより売上高306,915千円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益63,733千円（同0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は3,177,710千円（前連結会計年度末3,268,285千円）、その内訳は流動資産2,516,230千円、固定資産661,480千円となり、前連結会計年度末に比べ90,574千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少26,479千円、売掛金の減少29,959千円、その他流動資産の減少24,532千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は1,717,609千円（前連結会計年度末1,790,208千円）、その内訳は流動負債813,978千円、固定負債903,631千円となり、前連結会計年度末に比べ72,598千円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加8,907千円、未払法人税等の増加16,266千円、株主優待引当金の減少24,718千円、長期借入金の減少71,474千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,460,100千円（前連結会計年度末1,478,076千円）となり、17,975千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失19,483千円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,559,469千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、73,047千円（前年同四半期は197,978千円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益11,455千円、減価償却費29,627千円、のれん償却額23,258千円、株主優待引当金の減少24,718千円、売上債権の減少29,959千円、たな卸資産の増加10,837千円、仕入債務の増加8,907千円、法人税等の支払額又は還付額37,123千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、21,164千円（前年同四半期は33,633千円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2,380千円、無形固定資産の取得による支出20,526千円、貸付金の回収による収入3,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、78,768千円（前年同四半期は182,343千円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出77,546千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、未定としておりました平成30年9月期の連結業績予想につきまして、本日開催の取締役会において決議致しましたので公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,838,641	1,812,161
売掛金	143,632	113,672
商品及び製品	264,847	283,799
原材料及び貯蔵品	22,409	14,295
その他	316,840	292,308
貸倒引当金	△12	△6
流動資産合計	2,586,358	2,516,230
固定資産		
有形固定資産	33,349	35,161
無形固定資産		
のれん	164,732	141,474
顧客関連資産	368,807	351,653
その他	72,383	83,747
無形固定資産合計	605,922	576,875
投資その他の資産	42,653	49,444
固定資産合計	681,926	661,480
資産合計	3,268,285	3,177,710
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,643	50,551
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	154,072	148,000
未払法人税等	3,375	19,642
賞与引当金	14,653	11,170
返品調整引当金	825	673
株主優待引当金	29,522	4,804
その他	138,038	129,137
流動負債合計	832,132	813,978
固定負債		
長期借入金	870,810	799,336
資産除去債務	17,153	17,177
その他	70,112	87,117
固定負債合計	958,076	903,631
負債合計	1,790,208	1,717,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,117	348,117
利益剰余金	273,855	254,371
自己株式	△29,938	△30,147
株主資本合計	1,474,823	1,455,130
新株予約権	3,253	4,970
純資産合計	1,478,076	1,460,100
負債純資産合計	3,268,285	3,177,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,505,020	1,085,129
売上原価	597,912	253,991
売上総利益	907,107	831,137
返品調整引当金戻入額	1,793	825
返品調整引当金繰入額	1,474	673
差引売上総利益	907,427	831,289
販売費及び一般管理費	869,489	814,869
営業利益	37,937	16,420
営業外収益		
受取利息	3,171	1,990
貸倒引当金戻入額	64,249	—
受取手数料	264	—
その他	4,050	1,102
営業外収益合計	71,735	3,092
営業外費用		
支払利息	10,366	7,957
事務所移転費用	5,877	—
その他	505	100
営業外費用合計	16,748	8,057
経常利益	92,924	11,455
税金等調整前四半期純利益	92,924	11,455
法人税、住民税及び事業税	10,583	13,697
法人税等調整額	22,624	17,241
法人税等合計	33,207	30,939
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,717	△19,483
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	59,717	△19,483

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,717	△19,483
四半期包括利益	59,717	△19,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,717	△19,483
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92,924	11,455
減価償却費	26,482	29,627
のれん償却額	28,901	23,258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△64,248	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,372	△3,483
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△319	△152
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△19,351	△24,718
受取利息及び受取配当金	△3,171	△1,990
支払利息	10,366	7,957
売上債権の増減額(△は増加)	356,426	29,959
たな卸資産の増減額(△は増加)	△115,756	△10,837
仕入債務の増減額(△は減少)	174,236	8,907
その他	△189,915	△26,151
小計	294,201	43,824
利息及び配当金の受取額	3,171	18
利息の支払額	△10,392	△7,918
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△89,001	37,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,978	73,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,815	△2,380
無形固定資産の取得による支出	△19,634	△20,526
貸付金の回収による収入	—	3,000
敷金の差入による支出	△8,372	△846
その他	△810	△410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,633	△21,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	166,072	—
長期借入金の返済による支出	△183,015	△77,546
リース債務の返済による支出	△1,118	△1,013
その他	404	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	182,343	△78,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,674	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	348,363	△26,890
現金及び現金同等物の期首残高	1,103,135	1,586,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,451,498	1,559,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	カラーコンタクトレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	813,458	267,341	424,220	1,505,020	—	1,505,020
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	144	—	144	△144	—
計	813,458	267,485	424,220	1,505,164	△144	1,505,020
セグメント利益又は損失 (△)	12,518	63,211	△70,073	5,656	32,280	37,937

当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	778,249	306,879	1,085,129	—	1,085,129
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	36	36	△36	—
計	778,249	306,915	1,085,165	△36	1,085,129
セグメント利益	8,288	63,733	72,022	△55,601	16,420

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	5,656	72,022
全社収益(注)1	124,800	126,000
全社費用(注)2	△94,099	△122,720
その他の調整額	1,580	△58,881
四半期連結損益計算書の営業利益	37,937	16,420

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料等であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「カラーコンタクトレンズ事業」を報告セグメントから除外しております。